

第 36 回全国環境研究所交流シンポジウム

「現場から考える環境研究」

令和 3 年 2 月 17 日(水)
於 国立環境研究所 オンライン開催

司会: 岩崎 一弘(国立環境研究所 企画部)

13:00~13:05 開会挨拶

国立環境研究所 理事長 渡辺 知保

13:05~13:10 来賓挨拶

環境省大臣官房総合政策課 環境研究技術室 (予定)

特別講演

(1)13:10~13:40 「これまで関わった油汚染事故と対応について」

○牧 秀明(国立環境研究所)

一般発表

(2)13:40~13:55 「LC-MS/MS による分析を通じた生活由来物質のリスク解明に関する研究」

○高澤 嘉一(国立環境研究所)

(3)13:55~14:10 「水環境中における化学物質のスクリーニング分析」

○西野 貴裕(東京都環境科学研究所)

(4)14:10~14:25 「沖縄県における有機フッ素化合物の分布状況について」

○知花 睦(沖縄県衛生環境研究所)

14:25~14:35 (休憩)

(5)14:35~14:50 「降雨時における市街地排水中窒素成分の流出解析」

○横山 新紀(千葉県環境研究センター)

(6)14:50~15:05 「印旛沼流域における面源負荷量の検討」

○横山 智子(千葉県環境研究センター)

(7)15:05~15:20 「神奈川県内における環境 DNA を用いたサンショウウオの調査」

○長谷部 勇太(神奈川県環境科学センター)

(8)15:20~15:35 「環境 DNA を用いた群馬県内河川の魚類調査について」

○木村 真也(群馬県衛生環境研究所)

(9)15:35~15:50 「大阪湾圏域の干潟泥と生息生物から検出されたマイクロプラスチックの特徴」

○中尾 賢志(大阪市立環境科学センター)

15:50～16:00 (休憩)

- (10)16:00～16:15 「長野県のゼロカーボンに向けたカラマツ人工林の炭素収支の気候変動応答評価」
○栗林 正俊(長野県環境保全研究所)
- (11)16:15～16:30 「救急搬送データから読み解く地域の熱中症リスクと地方自治体の取組」
○本城 慶多(埼玉県環境科学国際センター)
- (12)16:30～16:45 「都市ヒートアイランド対策のための人工排熱量インベントリ推計手法および政策を反映可能な人工排熱量簡易推計ツールの開発」
○原 政之(埼玉県環境科学国際センター)
- (13)16:45～17:00 「地域における気候変動適応のための情報発信と課題」
○浜田 崇(長野県環境保全研究所)
- (14)17:00～17:25 「地域における気候変動適応に関する取り組みの分析と国環研による支援内容の紹介」
○藤田 知弘(国立環境研究所)

17:25～17:30 閉会挨拶

国立環境研究所 理事 森口 祐一